




【道路利用者等への呼びかけ】

- 四国地方では、11日夜から12日午前中にかけて、山地を中心に大雪となるおそれがあるほか、平地でも大雪となるところがある見込みです。積雪や路面凍結等による交通障害、着雪による倒木や電線などの断線に注意してください。
- 過去には、平成26年12月4日から5日の大雪により、愛媛・徳島を結ぶ国道192号の県境付近において、立ち往生をきっかけに、約130台の車両が立ち往生し身動きがとれなくなりました。
- **降雪の時には不要不急の外出をお控え下さい。**やむを得ず運転する場合には、**冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行**をして頂くとともに、お出かけ前には**道路や気象に関する情報収集**をお願いします。

【1. 今後の気象の見通し】

令和3年1月11日から12日にかけての大雪

地域	1月11日			1月12日		
	朝	昼	夜	朝	昼	夜
瀬戸内側			↔			
太平洋側						

 警戒すべき期間
  注意・警戒すべき期間
  注意すべき期間

【気象概況】

- 四国地方では11日夜遅くから12日午前中にかけて、四国の南岸を通過する低気圧の影響で山地を中心に大雪となるおそれ。気温が予想よりも低くなる場合は平地でも大雪となる所がある見込み。
- 積雪や路面の凍結による交通障害に注意。着雪による倒木や電線などの断線に注意が必要。

- 11日12時から12日12時までの24時間降雪量
 

香川県	5～10センチ	
徳島県	平地5～10センチ	山地10～20センチ
愛媛県	平地1～5センチ	山地10～20センチ
高知県	平地1～5センチ	山地10～20センチ

※大雪に関する気象情報については、気象庁HP ([https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/108\\_index.htm](https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/108_index.htm)) をご覧ください。

【2. 過去の大雪による雪害事例】

平成26年12月4日から5日にかけての大雪

【気象概況】

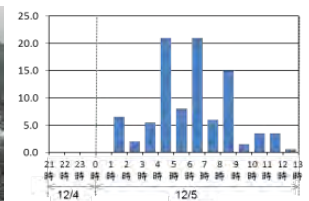
- 平成26年12月4日は、関東の東海上の低気圧が北東に進み、12月5日から6日にかけて、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。
- この影響で、愛媛・徳島を結ぶ国道192号の県境付近では、12月4日から5日にかけて大雪となった。

＜大雪のため、大規模な立ち往生が発生 約130台＞

- 愛媛・徳島を結ぶ国道192号の県境付近では、平成26年12月4日から5日にかけて、大雪となった。四国中央市川滝では、時間降雪量が20cm以上の局地的な大雪となり、約130台の大規模な立ち往生が発生した。



立ち往生の状況



降雪量解析値 (四国中央市川滝) 【一般財団法人 日本気象協会提供】

＜改正災害対策基本法を初適用し立ち往生車両等を移動＞

- 全国で初めて、改正災害対策基本法を適用して、除雪車両の集中投入により、約130台の立ち往生車両を約17時間で移動完了した。



立ち往生車両の移動

